

FOCUS まちの話題

※広報紙に掲載した写真は、本人や家族などに無料で差し上げます。
希望される方は、秘書課秘書広報係(☎26-2216)までご連絡ください。

7/23 ブックセカンド事業 市内各小学校



お気に入りの二冊と出会う 読書習慣の定着を応援

読書活動推進事業の一環として、0歳児に布絵本を贈る「ブックスタート事業」に続き、小学1年生に絵本を贈る「ブックセカンド事業」を市内各小学校で初めて実施しました。この事業は、児童が事前に保護者と共に8冊の候補の中から希望する本を選書し、夏休み前にその本を贈ることで読書習慣の定着を目的としています。7月23日に多度志小学校と北新小学校で行った贈呈式では、田中市長が児童に絵本を手渡し、児童らは自ら選んだ絵本を受け取り、笑顔を浮かべていました。

7/6 深川地区消防組合第62回深川消防演習 総合体育館駐車場

7月6日、消防職員や団員の資質向上と地元住民の防災思想の普及などを目的とした深川消防演習が総合体育館駐車場で行われました。この日は、消防職員のほか、第1〜5分団と女性分団、機能別団員の約120名が参加し、日頃の訓練の成果を披露しました。参加した団員らは、互いに連携を確認しながら分列行進や規律訓練のほか、息の合ったポンプ操作や放水訓練などを行い、いつ発生するか分からない災害に備え、懸命に演習に取り組んでいました。

もしもの災害に備えて 地域防災力を向上



7/15 ホクレン・ディスタンスチャレンジ2026深川大会 陸上競技場



トップアスリートによる 記録への挑戦

7月15日、日本の中長距離界のトップアスリートが多数出場し、道内5市を転戦する「ホクレン・ディスタンスチャレンジ2026深川大会」が陸上競技場で開催されました。大会では、アジア大会女子800メートル代表の塩見綾乃選手が女子1500メートルで自己記録を更新したほか、男子10000メートルでは小池莉希選手や星岳選手が力走するなど国内を代表する選手たちが熱戦を繰り広げました。会場に集まった多くの市民らは、間近で観る流の走りに大きな声援を送っていました。

市では、欲しい情報を選択して受け取ったり、知りたい情報をチャット形式で調べることができる「**深川市公式LINE**」を開設しました。ぜひ友だち登録をお願いします。



市ホームページ「発信!まちのできごと」では、市内で開催されたイベントや季節ごとの風景などを紹介しています。広報紙では紹介しきれない記事や写真も掲載していますので、ぜひご覧ください。



7/21 退任した委員に 感謝状

7月21日に市役所で開催した第4回市農業委員会総会の席上、長年にわたり市農業委員を務め、農地利用の集積・集約化や遊休農地の発生防止などに尽力した中川幸生さんから6人に田中市長が感謝状を贈りました。



7/21 ほくでんSDGs 出前授業

7月21日、北海道電力ネットワーク(株)が深川小学校でSDGsに関する出前授業を実施しました。参加した児童らは、貧困や健康福祉など、持続可能な社会づくりについてクイズを交えながら学び、SDGsへの関心を深めていました。



7/17 メグミルク食育 プログラム出前授業

7月17日、雪印メグミルク(株)が深川東高等学校でメグミルク食育プログラムによる出前授業を実施しました。参加した生徒らは、カルシウムの重要性、チーズの製造方法や種類などについて学び、食の大切さと尊さを学んでいました。



7/1 市民総ぐるみ運動 総決起大会

7月1日、犯罪や事故のない明るく住み良い平和なまちづくりを推進する市民総ぐるみ運動総決起大会を開催しました。大会では、一己小学校の児童が決意表明を行った後、大会決議が読み上げられ、市民が一体となって運動に取り組むことが採決されました。



7/11 男女共同参画 市民フォーラム

男女共同参画市民フォーラムを開催し、一般社団法人フェムテック北海道代表理事の国井美佐さんが「自分を大切にできる人は、もっと輝ける。～女性の体とキャリアを考える～」と題した講演を行い、参加者は女性の健康課題などについて熱心に耳を傾けていました。



7/8 第22回 農場公開デー

7月8日、農場公開デーが拓殖大学北海道短期大学で開催されました。この取り組みは、生産者や農業団体、市民との交流を目的としており、ほ場では同短期大学の学生や教員が日ごろ取り組んでいる実験・実習などについて来場者に説明していました。